

摩周の火山活動解説資料（令和元年5月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・火口の状況（図1～2）

27日から31日にかけて現地調査を実施しました。カムイヌプリ（摩周岳）の北側火口壁では、地表面温度分布に異常は認められませんでした。

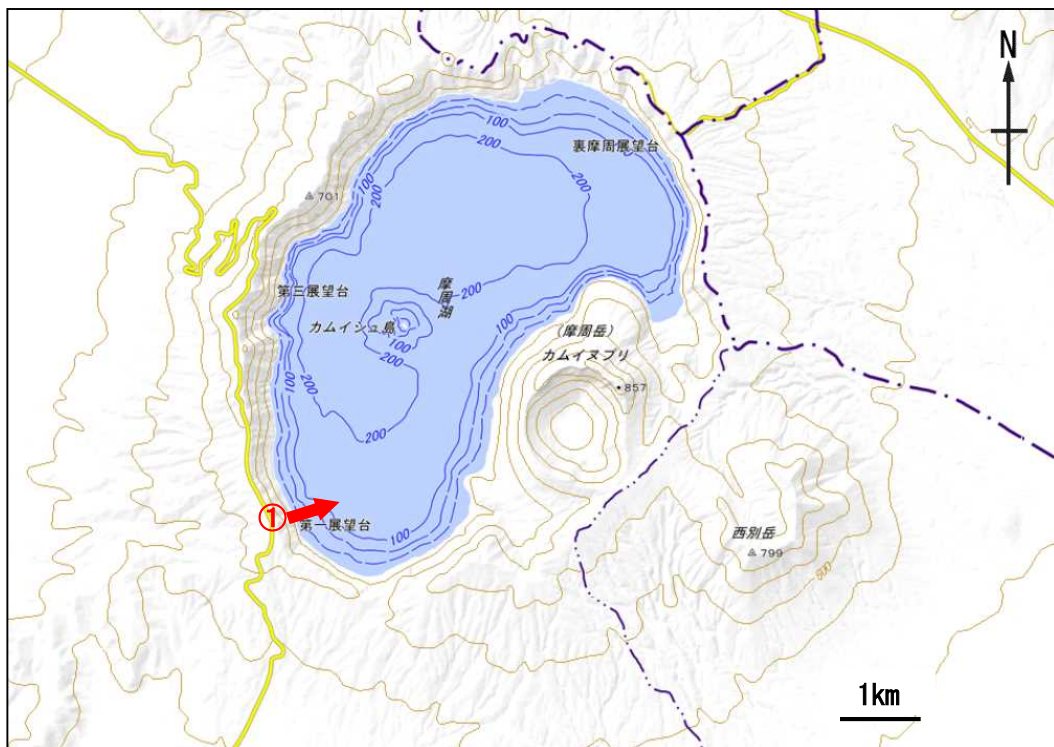


図1 摩周 周辺図と写真および赤外熱映像の撮影方向

この火山活動解説資料は、札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平29情複、第958号）。

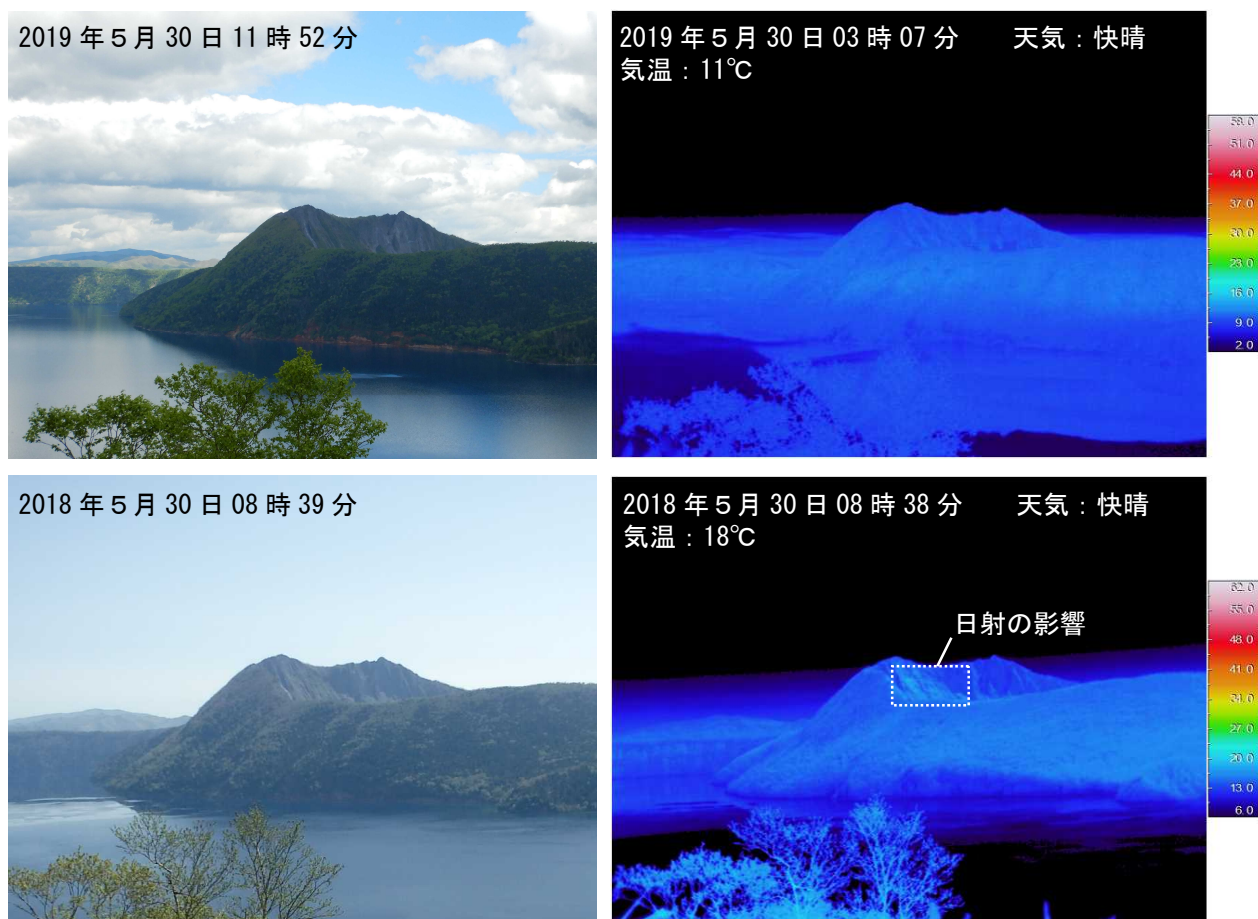


図2 摩周 赤外熱映像装置によるカムイヌプリの地表面温度分布
南西側（図1の①）から撮影

- ・カムイヌプリの北側火口壁では、前回の観測（2018 年 5 月 30 日）と比べて地表面温度分布に変化は認められませんでした。
- ・図中の点線部は日射の影響によるものと考えられます。